

「ふらの劇的な旅」～演劇的手法でまち全体を劇場にプロデュース～

■ストーリーの象徴的なイメージ

自然と芸術の舞台、富良野



演劇 × 旅 =
エンタビ

エンターテインメントな旅

■ペルソナ(主なターゲット層)

■若林吉恵(わかばやし よしえ)

31歳

- 東京練馬区生まれ・27歳の妹が一人
- 銀行員
- 世田谷区駒沢大学にマンション暮らし
- 年収550万円



- 演劇を含めてアートやちょっと変わった音楽が好き
- ファッションはモードではないけど独自のこだわりがある
- 雑誌でいうと天然生活、クウネル、リンカラン、webメディアは、CINRA、フィナム、neol、など
- フェイスブックは最近、あまり更新しなくなった代りに、Instagramで友達のみ公開
- 興味あること: ホンモノ思考・オーガニック、シンプルな生活、質の高い暮らしとモノ、量が少なくてもおいしいもの
- 最近は改めてヨーロッパにも行く。アメリカのポートランドなどが気になっている
- よく旅と一緒にいくのは家族・友人・好きな人

■経験ストーリー

演劇鑑賞？ 旅？
いえ、両方です！
富良野の自然を舞台に参加者も移動しながらの1泊2日の壮大な野外劇

劇的な旅・富良野2015秋 開演

① 旅の始まりは舞台女優によるキャビンアテンダント風バスガイド

② 6000年もの間、枯れずに沸き続ける「水」をオリジナルボトルに汲む

③ 富良野の秋の空気と空、田園風景を感じながらフットパスを歩く

④ 俳優の一人芝居鑑賞

⑤ 脚本家倉本氏の言葉が刻まれた石碑

⑥ 農家との交流。その場で梨を搾りジュースにして味わう。おすそわけ。

⑦ 俳優が扮する料理長の説明を聞きながら富良野産食材の料理を堪能。

⑧ 翌早朝、トランシーバーを手渡されゴンドラに。突然ラジオが開局！

⑨ 山頂で温かいスープを飲みながら雲間に広がる富良野盆地を眺める

⑩ ワイン工場のぶどう畑でぶどうを収穫

⑪ 働いた後には特別なご褒美が、ぶどう畑の絶景ポイントに用意されたアイスとテーブル、そしてワイン。ぶどうの香りと太陽に包まれながら「至福の一杯」を味わう。

⑫ ワイン工場を見学しながら、発酵途中の「ベビーワイン」を試飲

⑬ 旅のクライマックスは演劇の舞台。旅の途中で出会ってきた俳優・女優によるプレミアムツアー。すべての物語がつながる演劇を鑑賞する。

⑭ 最後は、2日間の旅の記録が映画のように投影され、幕を閉じる。

富良野演劇工場

旅で出会った俳優たちによる芝居

ワイン用ぶどうの収穫

富良野盆地を見下ろす

ゴンドララジオ

農家のゴスペル

プレミアムワイン畑BAR

富良野野塾跡地

俳優の一人芝居鑑賞

脚本家倉本氏の言葉が刻まれた石碑